

北海道総合計画の見直しのポイント

考え方

- 新型コロナウイルス感染症による道政の推進への大きな影響
- 北海道のハンディとされていた地域特性の新たな価値への転換
- デジタル・トランスフォーメーション（DX）や脱炭素化など、社会変革の兆し
 といった変化に対応し、「輝きつづける北海道」を実現するためには、現行の政策の位置づけの明確化や、新たな課題への対応など、政策展開を図るための方向性を明らかにする必要。
 また、北海道SDGs推進ビジョン（H30(2018).10策定）に沿って、多様な主体と連携・協働しながら、北海道全体でSDGsの推進を図る必要。

中期的な推進方向

「輝きつづける北海道」をめざして
 ～今後の政策展開を図る上で重視すべき視点～

①	危機に対する 強靱 な社会の構築	様々な危機を克服し、弾力的に対応できる強靱で柔軟な社会の構築
②	北海道の 真価 の発揮	ハンディから転換した強みや、食・観光の価値の更なる向上など、北海道の真価の最大限の発揮
③	社会の変革への 挑戦	世界全体で取り組むべき課題や未来の兆しの本格化など、コロナ以前への回帰を超えて、社会変革に挑戦

政策展開の基本方向 ～主な見直し事項～

1. 生活・安心

- 挑戦** 脱炭素型のライフスタイルやビジネススタイルへの転換
- 挑戦** 二酸化炭素吸収量の確保に向けた、適切な森林の整備・保全
- 挑戦** 気候変動の影響を回避・軽減する取組の推進
- 強靱** 感染症の拡大の抑止に向けた、検査体制や医療提供体制の強化

2. 経済・産業

- 挑戦** スマート農業の加速化
- 真価** サテライトオフィスや本社機能の移転などの誘致活動の展開
- 挑戦** 新エネルギーの最大限の活用、水素等の有効活用
- 強靱** 感染症対策などに配慮した観光受入体制の確立
- 真価** アドベンチャートラベル等の体験型観光の推進
- 挑戦** テレワークの推進など、柔軟で多様な働き方がしやすい環境の整備

3. 人・地域

- 真価** 関係人口の創出・拡大
- 真価** ワークেশョンの推進
- 強靱** 感染症や災害発生時における学びの確保
- 挑戦** 地域の将来を担うIT人材の育成
- 挑戦** 交通インフラ整備と自動運転やMaaSの連動などによる、利便性の高い交通環境の実現
- 挑戦** ICTやAI、ロボットなどの未来技術の活用

◆ 総合計画とSDGsの達成を見据えた政策展開との関係性を可視化するため、政策の柱ごとに関係するSDGsのゴールを明記

※ このほか、総合計画の記述全般について、計画策定時（H28(2016)）からの経済社会情勢の変化等を踏まえた修正を実施